

# 13社の貢献たたえ

## 災害対応等の協力者に感謝状贈呈

帯広 建管

【帯広発】帯広建管は25日、同建管2階A会議室で災害対応等の協力者に対する感謝状贈呈式を執り行った。受賞した13社の代表者に対し、星野信哉副局長が



記念撮影に臨む受賞者と建管職員

感謝状を贈呈。地域住民の安全・安心を守るべく、災害対応等に奔走した各社の功績をたたえた。受賞者は21日付3面既報

対象は、同建管が所管する公共土木施設の機能確保のため応急対策に協力し、特に功績のあった企業等。今回は、昨年3月の大雪

4月の融雪出水、7月の大雨等による災害等の際、緊急工事、緊急調査、交通整理などの応急対策に当たった13社が受賞した。

各社の代表者に感謝状を手渡した星野副局長は「厳しい災害現場の最前線において、応援要請に基づき緊急に対応していただいた」と評価。また、昨年発生した北海道胆振東部地震を振り返りながら「今後もいつ起こるか分からない災

害への防災対応と、復旧・復興という私どもの社会的使命を一緒に果たしていくパートナーとして尽力を」と呼びかけた。

最後に、受賞者を代表して宮坂建設工業(株)の宮坂寿文社長と、北海道土木設計(株)の佐々木朗社長が登壇。宮坂社長は、近年の気候変動にふれた上で「地域に寄り添うという意識と合わせ、24時間体制で防災に対応していかなくてはならな

い。建設管理部の方々と情報共有を密にしながら、インフラに対する安全対策も徹底していきたい」との決意を示した。

一方、佐々木社長は「委託業務での災害対応は、限られた人材の中で効率的・効果的に対応していくことや、発注者との協力が不可欠となる。様々な課題に対し、今後とも全力で取り組んでいきたい」と語った。